

小野寺仁さん

あなたの目に、今の飯田高校はどのように映っていますか。安全で、平和で、活気のある学校に、映っているでしょうか。

三十四年前のあの日、この星にたった一つであった、あなたの尊い命が奪われました。あなたやご遺族の無念、怒り、悲しみが、どれほど辛いものであったかを想像すると、あまりの辛さで言葉が見つかりません。

ただ確かに言えるのは、この地であなたの身に起こった悲しい出来事は、決してあってはならず、未然に防がれるべきものであったということです。自分たちの母校に起こった出来事である以上、当時を知らない私たちにも、後輩というより、むしろ当事者として、生徒だけでなく、先生方やその他飯田高校に関わる全ての人とともに、この学び舎の平和を、安全を、懸命に守り、次の世代に繋いでいく責務があります。

私たち飯田高校生は、「高松 92 宣言」を、あの事件を、自分たちの忘れてはならない教訓として深く胸に刻み込み、一日一日に感謝して、これから先の高校生活を送ることを、ここに誓います。

そして最後に、小野寺仁さんのご冥福を心よりお祈り申し上げ、追悼の言葉とさせていただきます。

令和八年一月八日 生徒自治会長 伊東 正晴